

未来へつなごう！
地域が支える部活動。



あすけだより

特集 足助中学校 変わる部活動のかたち

部活動の地域展開を目指し、地域の方による指導者を募集している足助中学校。そこで、足助中学校の山田校長先生と地域指導者の林さんの特集。

7・8月号
2025年
No.216 

足助中学校の部活動を地域に展開

現在、足助中学校の部活動には、男子バスケットボール部、男子ソフトテニス部、女子バレーボール部、男女卓球部、男女弓道部、ブラスバンド部、総合文化部（ACC）があります。広報とよた2024年10月号でも紹介されていましたが、こうした中学校の部活動が、来年の夏から、平日も含めて地域に展開され、指導者が教員から地域の方（地域指導者）に変わります。足助中学校でも地域指導者を募集しているそうですが、まだまだ不足していると聞きました。そこで、山田人巳校長先生に、部活動と地域指導者の現状について伺いました。また、女子バレーボール部を長年指導し、2年前に地域指導者に登録された林 邦夫さんにもお話を伺いました。



部活動の様子を山田人巳校長先生に伺いました。

足助中学校生徒の部活動での活躍

昨年度の夏の大会では、男子弓道部が県大会で優勝し、全国大会に出場。また、女子バレーボール部は西三河大会で3位。男子卓球部が個人戦で西三河大会出場しました。今年度に入って、女子弓道部が県大会で団体戦3位、個人戦2位に入賞し、7月には全国大会出場。女子バレーボール部は春の豊田市大会で優勝。少ない生徒数にもかかわらず、素晴らしい成績を挙げています。

学校部活動から地域主体の部活動へ

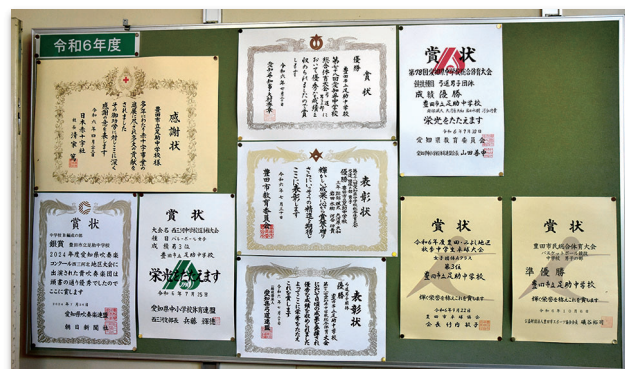
足助中学校の地域指導者は、現在、男子バスケットボール部に2名、女子バレーボール部に2名、男女弓道部に2名、男子ソフトテニス部に1名、ブラスバンド部に1名の登録があり、頑張ってくださっています。平日も

含めて地域の方が指導するように変わるため、どの部活動も、さらに多くの地域指導者を求めています。なかでも、男女卓球部とブラスバンド部は特に地域指導者を必要としています。

見守り役も募集中

部活動のサポートや安全管理を行っていた見守り役も、積極的に募集しています。地域の子どもたちとつながりを持つことを新たな生活の一部とし、元気の源にしてもらえたらと思います。

生徒数は減ってきていますが、子どもたちに、いろいろな活動をして欲しいので、部を減らすことは考えていません。そのためにも、地域指導者と見守り役に是非応募して欲しいというのが、切実な思いです。お問い合わせは足助中学校（TEL：62-0227）まで。



職員室前に掲示された部活動の表彰状



女子バレーボール部を長年指導されている
林 邦夫さん(冷田地区在住・75 歳)にお話を伺いました。

部活動を指導するようになった経緯

元々は教師で、昭和60年から4年間、足助中学校の女子バレーボール部の顧問でした。その後、学校週5日制をきっかけに、地域で部活動を応援しようと発足した、足助ジュニアバレーボールクラブで指導を続けてきました。

11年前からは、当時顧問だった大藪先生と連携を強め、部活動とクラブの両輪で部員の成長を支えてきました。大藪先生の転勤後は、平日の部活動も指導するようになり、2年前から大藪先生と共に地域指導者として登録しました。

部活動の指導で大切にしていること

女子バレーボール部の部員は現在15名。指導するときは、一人一人のその時々のお気持ちを汲み取り、声掛けすることを大切にしています。

70歳を過ぎた頃から、年々体が思うように動かず、共に汗を流すことが減りました。そのため、指導の仕方を変える必要があり、子どもたちのために何ができるのか悩んだ時期がありました。悩んだ末、一人一人の表情

と思い、姿と動き等を注視して、より適時・適切な声掛けができるよう心がける事の方が大切だと気づきました。

その種目ができなくても指導はできる

足助中学校は、校訓である『自立』を目指しながら諸活動に取り組んでいます。部活動においても、その姿が見られ、地域指導者として指示を出さなくても生徒は自ら成長する力を備えています。それを応援するのが大人の役割です。孫のような子供たちから元気をもらい、成長を感じられるのは、励みになります。部活動を通して、子どもたちの自立と成長を支えることができるのは、地域ならではの役割だと思います。ぜひ多くの方に、気軽に地域指導者や見守り役になってもらい、楽しみながら子どもたちの成長を応援してほしいです。



女子バレーボール部の練習の様子

取材動画公開中！！

↓こちらから

市のHPの掲載リンクから、取材動画をご視聴いただけます。ぜひご覧ください！



部活動を地域へというのは簡単なことではないと思います。子どもたちと地域にとって、より良い形にしたいですね。林 邦夫さんには、長男が小学校の時に世話になりましたが、長男の名前がすぐに出てきてびっくりしました。凄いですね！（あすけだより編集委員 高木伸泰）

あすけ[⊗]羅針盤

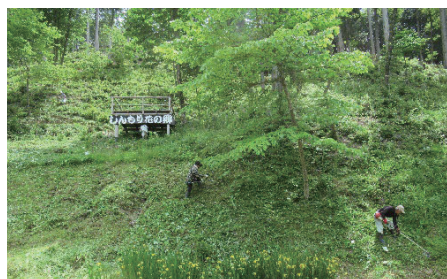
あすけ[⊗]羅針盤は、足助地域会議委員が足助の魅力や地域の皆さんの元気な活動をお届けします。
令和7年度わくわく事業団体のうち4団体の活動内容を紹介します。

わくわく事業紹介

しんもり花の郷（代表：鈴木 光明）

扶桑館の前山整備事業(申請回数：5回目)

- ・地域活動の拠点である集会所「扶桑館」の前の山を整備し、人々が集い憩える場所づくりを目指しています。地域のシンボルである「花の郷」を中心に、地域内外の人を呼び込む交流イベント等を行うなど、年間の活動を通して地域住民の連帯や地域愛をさらに高めることを目的として事業に取り組んでいます。



草刈り活動の様子



獣害対策用フェンス設置の様子



遊歩道整備の様子

わくわく事業紹介

北小田体験塾（代表：荒川 偉洋子）

北小田町竹林整備プロジェクト（申請回数：3回目）

- ・竹林整備を進めることで、地域の竹害を減らし、地域住民だけでなく関係人口の増加による地域の賑わいに貢献することを目指して、竹害を知るワークショップや竹林の整備技術の習得、伐採した竹を使って竹チップや土壌改良炭の作成などを行っています。



伐採した竹を使って竹チップの作成



土壌改良炭作成の様子

活動の予定、詳細など下記の二次元コードから確認できます。



わくわく事業紹介

萩野 NPO 結の家（代表：山本 薫久）

萩野・持続可能な地域づくり事業（申請回数：7回目）

- ・空き家の解消や森林・田畑の保全など地域課題を学び、交流を進めることで、住民による自主的なプロジェクトを育て、持続可能な地域づくりを推進することを目指しています。
- ・「こどもの森」ではメルヘンな小屋づくりを「トンカン木工塾」で進め、萩野小学校もそこの遊具づくりをきっかけに地域づくりをテーマとした活動を始めています。
- ・トンカン木工塾での木造建築物モデル（1畳分）をつくり、住民や関係市民の学習に生かします。
- ・田んぼをまもり、シカ対策など獣害と向き合う新しい地域課題にもチャレンジします。



「こどもの森」の小屋づくりの様子



椅子づくりの様子



田んぼをまもる仲間たち

わくわく事業紹介

三州足助太鼓（代表：鈴木 正治）

和太鼓で地域づくりと子どもの育成を図る事業（申請回数：2回目）

- ・和太鼓演奏で地域活性化に取り組むことや、子ども太鼓を通じて健全な成長を図る事を目的として活動をしています。
- ・3月2日に飯盛座で、足助地区の11名と豊松たちばな太鼓のメンバーが「動物大集合」という曲を演奏しました。子どもたちが演奏後に「大勢のお客様の前で緊張したけど楽しかったです」と話してくれました。とても貴重な経験となりました。今年度は新メンバーも少し増え、引き続き新曲に挑戦して練習に励んでいます。今年も太鼓の体験会を行っていますので観に来て下さい。



練習風景の様子



子ども太鼓発表会の様子



寶榮座公演の様子

杜協だより



～そうだ！



(杜協足助支所)へいこまい

4月から新しい職員が入りました♪

地域で見かけることがあるかと思いますが！どうぞよろしくお願いいたします。

障がい相談担当

地域とのつながりを
大切に丁寧な支援を
心がけていきます

はつらつクラブ デイサービス担当

明るく元気よく過ごして
頂ける地域づくりを
みなさまと一緒にできれば
嬉しいです

社会福祉協議会足助支所
電話：62-1857

こんにちは！ 足助包括です！

地域包括支援センターでは、月1回程度おいでん便に同行する出張相談を実施しています。
これは、地域包括支援センターを知ってもらい、地域の方々に必要な支援を届けられるようにすることを目的としています。令和6年度は38箇所を訪れ、お買い物に来られた利用者さんに地域包括支援センターのPRチラシを配布させていただきました。
今年度は令和6年度訪問できなかった地区を中心に巡回予定です。地域包括支援センターのスタッフを見かけましたら気軽にお声掛けください！

～令和7年 出張相談スケジュール～

4月28日(火)	東川端町～菅生町
5月8日(木)	新盛町～千田町
5月17日(土)	実栗町～大河原町
6月17日(火)	塩ノ沢町～東大島町
6月21日(土)	下国谷町～国谷町
7月15日(火)	川面町～大井町
10月16日(木)	竜岡町～北小田町



↑ おいでん便の様子

包括 PR チラシー



問合せ先：足助地域包括支援センター（足助病院内）62-0683

足助消防署からのお知らせ

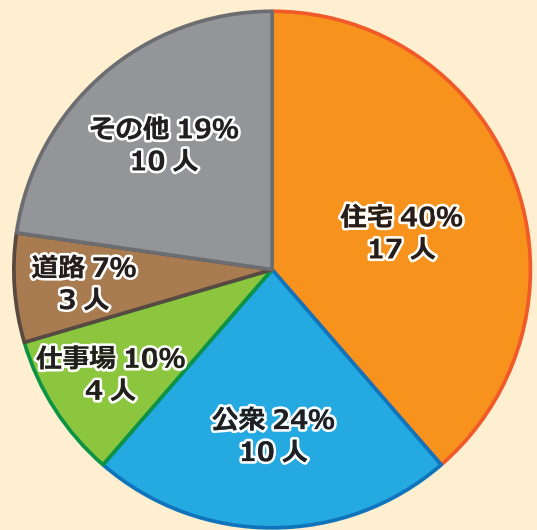
《熱中症にご注意！！》

ご自宅での熱中症対策を しっかりと！

今年も暑い日が続き、熱中症のリスクが高まっています。
令和3年から令和6年の間に熱中症が発生した場所を調査したところ、足助地区では「住宅」での発症が40%と最も多く、豊田市全域と比較しても高い割合となっています。

お庭等を含めたご自宅での熱中症対策が重要です。以下のポイントを参考に、暑さ対策を心がけましょう。

足助地区の熱中症発生場所



熱中症予防のポイント

- ・エアコンや扇風機を適切に使い、室温を調整しましょう。
- ・風通しを良くするために、こまめな換気を心がけましょう。
- ・カーテンやすだれで直射日光を遮り、室温の上昇を防ぎましょう。
- ・のどが渇いていなくても、こまめに水分補給をしましょう。
- ・涼しい服装を心がけ、外出時には帽子や日傘を活用しましょう。



足助地区では、令和3年から令和6年に熱中症を発症した方の6割以上が65歳以上の方でした。ご高齢の方がいるご家庭では、特に注意が必要です。家族みんなで声を掛け合いながら、暑い夏を健康に乗り切りましょう。

【お問い合わせ】足助消防署 電話：62-0119

足助警察署からのお知らせ

不法就労・不法滞在防止にご協力を！

令和6年に日本へ新規入国した外国人は、前年と比べ約43.2%増加するなか、不法残留者数は、前年と比べ約5.4%減少しました。

しかし、不法残留等の不法滞在者に対して、不法就労を斡旋するブローカーや就労が認められない外国人を雇用する事業主は後を絶ちません。

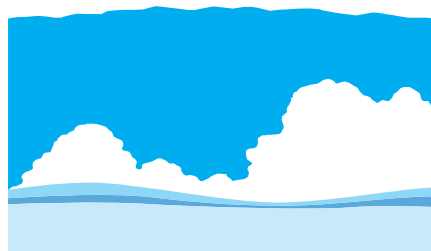
警察では、このようなブローカーや悪質な事業主の取締りを強化しています。

不法就労者に関する情報提供は
足助警察署（62-0110）までお願いします。



令和7年度 足助プールオープン

ぜひ足助プールで楽しい夏をお過ごしください。
皆様のご利用をお待ちしております！



<と き> 7月13日(日)～8月31日(日)
午前9時30分～午後4時

<入場料> 高校生以上300円 中学生以下100円

※市内在住または在学する高校生以下の方（在学していなくても平成19年4月2日以降に生まれた方は対象）、市内に在住する満70歳以上の方は無料
（確認のため、住所、年齢、通学先がわかるものをご持参ください）

<その他>

- ・天候の状況、節水規制などで利用中止になる場合があります。
- ・自動販売機は設置しておりませんので、飲み物は各自ご用意ください。
- ・混雑時にはご利用を制限させていただく場合があります。

問合せ先 足助プール ☎62-1588

足助の名スポット紹介 足助で唯一石積みが見られるお城『城山城』^{しろやまじょう}



足助地区内には30以上もの城郭があったとされています。一つの地域にこれだけの城郭があることは全国的に見ても珍しく、それだけ重要な地域であったことが伺えます。

またその中でも城山城は、地区内で唯一石積み遺構が確認されている城郭です。城主や歴史など詳細不明な城郭ではありますが、石積みを眺めながら当時に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



Google マップ

（あすけだより編集委員 鈴木悠太）

いつもお読みいただきありがとうございます。今後もよりよい支所だよりをお届けするため、ご意見・ご感想・ご要望などいただければ幸いです。以下の連絡先へお気軽にご連絡ください。



人口と世帯数（令和7年6月1日現在）
人口 6,604人 世帯数 2,738世帯
令和7年度合計 出生0人 死亡14人

発行：豊田市役所足助支所 〒444-2424 豊田市足助町宮ノ後26-2
電話：市民生活担当 ☎62-0600 地域振興担当 ☎62-0601
FAX 62-0606 ✉asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp